

介護予防事業について

大町 栄信

〔質問〕年々、当市の高齢化が進み、要介護者の増加が考えられる。

在宅サービス、施設サービス等の介護支援事業に依存することに多くなり、施設利用に頼るのにも限りがあり、利用待ちが多くなってきている。このきびしい状況を考えた

場合、介護予防によって、健康体力の保持増進を図り、高齢者への介護予防を地域全般に広め積極的かつ継続的に行うべきと考えるが、具体的施策について伺う。

○その他の質問
農業生産資材高騰対策について

スパッシュランドパークのシバザクラなど、花木類の整備について

四 竈 英夫

〔質問〕スパッシュランドパークは、白石市の奥座敷である小原温泉の活性化を図るとともに、リゾート型の総合公園として平成9年4月に開設された。長い冬の季節を終え、草花が一斉に咲き乱れる頃、一面にピンクの可憐な花を咲かせるシバザクラは訪れる人に感動と喜びを与えてくれた。

しかし、近年シバザクラの欠株が目立ち、かつての景色を見ることができず、訪れる観光客を失望させている。ピンクの絨毯を敷きつめたような見事なシバザクラ公園を復活させ、観光客の期待に応えるとともに、公園の名声を高める対策を講ずるお考えがないか、伺いたい。

〔答弁〕〔市長〕地域における介護予防は、平成14年度より、老人クラブ等に呼びかけ、市内14カ所の地区公民館、集会所を使用して、延べ約800名の方々に体力測定や転倒予防体操、頭の体操等の教室を行ってきた。

その際、地区の老人クラブや自治会役員の皆様のほか、ボランティアの方々との協力をいただきながら実施してきたが、現在では、時々講師として依頼される程度の状況となっている。

これは地区の問題というところではなく、介護予防はゲームボールとかカラオケのようにやるべきことが決まっておらず、集まられた高齢者の方々の身体状況が千差万別であることによる困難性のためと考えている。

しかしながら、身近な生活の場での介護予防の重要性は十分認識しているので、各地域などから依頼があった場合には、年間計画を立てながら、可能な限り出向いて事業を実施したいと考えており、その

判明している。

以上の調査結果を踏まえ、年次計画で、株の減少が大きいブロックから花畑の再生に向けて取り組んでいるところである。

なお、小原活性化推進協議会では、本年4月にシバザクラ愛護会を結成し、開花期間中、園内に募金箱を設置し、一株でも花をふやそうと、善意の呼びかけを行っていただいたところである。

また、同協議会が行う苗の植えつけ作業にあたっては、

ための周知として、各地区のまちづくり協議会等にも呼びかけをしたい。

また、現在実施している介護予防センター事業の地域への出前についても、今後検討してまいりたい。



介護予防センター（開放日）

小原各自治会からボランティアで参加したいとの申し出があり、大変心強く思っている。

なお、行政としても、今議会においてこの苗代を補正予算に計上している。

今後の再生は、住民と一体となって実施していかねばならないと考えている。

